

九州運輸局メールマガジン 平成 21 年 8 月 14 日 第 47 号（発行日：毎月 第二、第四金曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～ 九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンのご利用ありがとうございます。

【目次】

1.九州運輸局ホームページアップ情報（7月24日～8月13日）

プレス発表

2.地域からの情報

海事産業次世代人材育成事業

<離島探検で海を身近に！>（佐世保海事事務所）

<倉庫業のこと、もっと知って！>（鹿児島運輸支局）

3.お知らせ

4.編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】（7月24日～8月13日）

プレス発表

《観光》

中国からの個人観光客を増加させるためのマスコミ招請を実施します！（7月24日）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090724_3.pdf

観光・地域づくり関連施策メニューを作成！～国の施策メニューを平成21年度版に改訂しました～（8月5日）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090805.pdf>

《交通環境》

交通環境対策アクションプランを策定！～九州運輸局 平成21年度版～（7月29日）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090729.pdf>

《物流》

平成21年度グリーン物流パートナーシップ推進事業の2次募集を開始～普及事業（CO2削減プロジェクトにかかる設備導入補助）の募集を行います～（7月31日）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090731.pdf>

《鉄道》

本物の列車の運転してみない？[鉄道好きの小学生あつまれー！]（8月11日）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090811.pdf>

《自動車》

一般貨物自動車運送事業者に対する事業停止処分（8月10日）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090810.pdf>

《海事》

長距離フェリー旅客・車両とも輸送量減少続く～4・5・6月輸送実績～（7月24日）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090724_2.pdf

大型ケミカルタンカー進水式の見学会！～九州海事産業の次世代人材育成推進事業イベント～（7月24日）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090724.pdf>

【地域からの情報】

海事産業次世代人材育成事業

<離島探検で海を身近に！>（佐世保海事事務所）

最近では、海洋開発やウォーターフロントの整備、マリンスポーツの普及など海を利用する機会は多様化しています。佐世保海事事務所では本局とともに、海事思想の普及テーマ“海事産業は日本の国民生活を支えている”ことを広く理解して頂く機会を展開していくことから、次世代を担う子供達の『こころ』と『からだ』を育成するため、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用することをコンセプトに<離島探検>イベントを、8月1日、2日に開催しました。

初日、佐世保港ターミナルに集まった佐世保市内の小中学生20名は、これからの2日間に思いを馳せながら探検隊団結式に臨んだ後フェリーに乗船、船内で船長からレーダーや舵等の航海機器の説明を受けた後、運航操作や安全点検などの作業を見学しました。

宇久島（うくじま：佐世保市）上陸後は、当事務所職員が講師となり、子供たちへ「船ができるまで」、「旅客船・貨物船って？」、「船員になるには」の話をするなど、海事の職場を将来の就職先の一つとして考える機会を提案しました。

その後は、綺麗な砂浜が広がるスゲ浜海水浴場での地引網にチャレンジ、自然を相手に生きる喜びや苦労を体験しました。夜のバーベキュー大会でも、地元の人々や遠方からクルージングし

てきたボートオーナーと、海や船の話で盛り上がり楽しい一時を過ごしました。

翌日は、子供たちが楽しみにしていたクルーザーでのミニクルージングが悪天候のため中止となりましたが、開催したローワーク講習会では大盛り上がり。子供達はヨットやカヌーだけでなく、普段の生活でも様々なローワークが活用できることを感心しきりでした。

帰路のフェリーでも、北東風と波高によるピッチング&ローリングに負けず宇久島の話で大はしゃぎ。全員元気に佐世保に帰港、解散式を行い無事終了しました。

初めて1泊2日の人材育成事業でしたが、子供達の笑顔に癒され、次年度に向けて気持ちを新たにしたいイベントでした。

<倉庫業のこと、もっと知って！>（鹿児島運輸支局）

鹿児島運輸支局では、海事産業の次世代を担う子供たちに海の仕事に興味をもってもらおうと、昨年度から海事施設見学会に取り組んでいます。

今回は「倉庫業」にスポットをあて、7月30日、鹿児島市内のサイロ倉庫と冷蔵倉庫に、地元の中学生約30名を招き、見学会を開催しました。

はじめに、支局職員による講話や施設紹介ビデオの上映を行った後、穀物を貯蔵する高さ約40mのサイロの屋上から施設を眺めたり、サイロ内にある荷役制御室の機械や実際に船からクレーンで荷物の積み卸しをしている様子を事業所職員の説明を受けながら見学しました。

冷蔵倉庫では、マイナス50度の倉庫内に入り実際に極地並みの寒さを体験しました。事業所職員の説明によると、日本で一番寒かった日の気温は107年前に北海道旭川で記録されたマイナス41度のことですから、この寒さは半端ではありません。勢いよく倉庫へ入っていった生徒たちでしたが、数分後にはあまりの寒さに背中を丸め、中には眼鏡を真っ白に曇らせて戻ってくる生徒もいました。それでも生徒たちを楽しませようと、倉庫内に薔薇を持ち込んで凍らせるなど滅多に見れない演出もあって、生徒たちの好奇心を大いに掻き立てたようでした。

生徒たちへのアンケートでは、「参加して大変良かった」、「海の仕事に興味をもった」等の感想が寄せられ、この見学会を通して海や海の仕事の大切さが多少なりとも伝わったかと感じています。

当日は、地元テレビ局3社が取材に訪れ、この模様がニュースとして放映されるなど、海事広報としても大いに成果の挙がった取り組みとなりました。

=====

【お知らせ】

昨年作成した「観光・地域づくり関連施策メニュー」の平成21年度版ができあがりしました。観光立国の実現には、多様な関係者による積極的な取り組みが必要であり、各方面から要望が多かった国の支援メニューを取りまとめた資料集となっています。

詳しくは8月5日のプレス発表（またはトピックス）【観光・地域づくり関連施策メニューを作成！～国の施策メニューを平成21年度版に改訂しました～】をご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file21/file210805.pdf>

8月24日、福岡市にて「第32回九州運輸コロキウム」が開催されます。

今回は、「総合物流施策大綱について」をテーマに、国土交通省政策統括官付参事官室の益田企画官が講演を行います。同大綱は、2009年から2013年において推進すべき物流施策の基本的方向性を取りまとめ閣議決定されたものです。「グローバル・サプライチェーンを支える効率的物流の実現」「環境負荷の少ない物流の実現」「安全・確実な物流の確保」という3つの大きな柱が基本的方向性です。今後の具体的な物流施策や行政の指針の講演が行われる予定です。

◆お問い合わせや詳細については(財)九州運輸振興センターまで

<http://kyushu-transport.or.jp/news/>

毎年10月は「九州レイル・マンス」です。10月14日の「鉄道の日」を記念して、期間中さまざまなイベントが計画されています。小学生を対象にした車両運転や運転シミュレーター体験の募集を行っています。詳しくは8月11日のプレス発表（またはトピックス）【本物の列車の運転してみない？ [鉄道好きの小学生あつまれー！]】をご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090811.pdf>

=====

【編集長だより】 広報対策官 森 益隆

8月5日12時51分に発生した日向灘を震源とする地震では、大分県佐伯市の震度4をはじめ東九州を中心に各地で揺れを観測しました。本地震の発生時刻に注意体制に入った九州運輸局では、幸いにも運輸・観光関係に被害がなかったため、翌6日の10時に注意体制を解除したところですが、11日の駿河湾や13日の八丈島東方沖で発生した地震では、それぞれ最大震度6弱、5弱の揺れにより、死者や東名高速道路一部区間の崩壊を引き起こしたところでした。

また、台風8号は九州へは大きな影響を及ぼすことなく中国へ上陸しましたが、続く9号は兵庫県をはじめ各地で甚大な被害を与えました。

九州運輸局では、7月24日の局地的大雨による交通傷害（九州自動車道土砂崩れによる太宰府～福岡IC間通行止め）の「風水害」のため継続していた注意体制を、12日午後に通止

解除となったため同日 17 時に解除しましたが、桜島の噴火警戒レベル 3 (入山規制)による「火山」の注意体制は、本日現在も継続中です。

台風シーズン本番の夏、九州運輸局では台風のみならず地震や様々な自然災害や事故災害に対し一層気を引き締めているところです。

只今、九州運輸局メールマガジン配信希望者を募集中です。10月2日からの配信となりますが、是非関係者の方々にもPRして頂きますようお願いいたします。現在月2回(第二、四金曜日)の発行を毎週金曜日の発行に増刊し、最新の情報や皆様のお知りになりたい情報を素早く提供できるようにいたします。だれでも無料で読むことができる九州運輸局メールマガジンは、次のURLから簡単にお申込みできます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局 総務部 広報対策官 森 益隆(もり ますたか)
mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

◆バックナンバーは、次のURLに掲載しています。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html